



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス

コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,717	△0.6	86	△9.8	90	△8.1	57	△5.9
2018年3月期第1四半期	1,727	3.3	95	9.7	98	9.0	61	7.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 57百万円 (△5.9%) 2018年3月期第1四半期 61百万円 (7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	11.88	11.53
2018年3月期第1四半期	12.62	12.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	6,349	4,016	62.8
2018年3月期	6,475	4,007	61.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 3,989百万円 2018年3月期 3,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,579	1.2	213	11.6	215	9.7	139	13.4	28.73
通期	7,780	0.2	465	2.5	468	0.8	298	△2.0	61.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 (社名) 株式会社ティーエスシー

(注) 詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	4,840,000株	2018年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,701株	2018年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	4,838,299株	2018年3月期1Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日）におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善の動きは横ばいの状況であるものの、雇用環境等は改善の動きを続けており、個人消費についても持ち直しの動きが見られる等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車（普通自動車）、届出車（軽自動車）ともに、モデルチェンジ等の効果が持続している車種の販売は堅調に推移した一方、モデル末期の車種の販売は大きく落ち込んだことから、当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,191,785台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比1.1%減）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、前期にモデルチェンジを受けた量販車種の販売が堅調に推移したこと等から販売台数は501台（前年同四半期比2.0%増）となりました。登録受取手数料等の手数料収入及び整備業務を行うサービス売上は前年同四半期に比べて減少しました。売上高は14億18百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車、オークション等からの外部仕入により販売車両の確保に努めました。販売台数は432台（前年同四半期比4.6%減。内訳：小売台数187台（前年同四半期比2.7%増）、卸売台数245台（前年同四半期比9.6%減））となりました。また、登録受取手数料等の手数料収入及びサービス売上も減少したこと等から売上高は2億73百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、商品構成の変化などにより保険契約件数及び保険取扱手数料が増加したことより売上高は25百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は17億17百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は86百万円（前年同四半期比9.8%減）、経常利益は90百万円（前年同四半期比8.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。これは、売上高については微減にとどまりましたが、自動車販売関連事業において、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は32億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億17百万円減少いたしました。これは商品及び製品が82百万円増加、現金及び預金が1億15百万円、受取手形及び売掛金が81百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は30億57百万円となり、前連結会計年度末に比べて8百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が4百万円、投資その他の資産が3百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は63億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億26百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は21億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億32百万円減少いたしました。これは賞与引当金が23百万円、その他の流動負債が23百万円それぞれ増加、買掛金が78百万円、短期借入金が52百万円、未払法人税等が48百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億18百万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円減少いたしました。これはその他の固定負債が9百万円増加、長期借入金が12百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は23億32百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億35百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は40億16百万円となり、前連結会計年度末に比べて9百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は62.8%（前連結会計年度末は61.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少し、当四半期連結累計期間末には15億49百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は14百万円(前年同四半期は39百万円の使用)となりました。これは税金等調整前四半期純利益90百万円から主に減価償却費29百万円、賞与引当金の増加額23百万円、売上債権の減少額1億44百万円、たな卸資産の増加額94百万円、仕入債務の減少額78百万円、その他の負債の減少額22百万円及び法人税等の支払額79百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は16百万円(前年同四半期は33百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億13百万円(前年同四半期は97百万円の使用)となりました。これは借入金の返済による支出65百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、概ね計画通りに推移していることから、2018年5月10日の「平成30年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,665,513	1,549,900
受取手形及び売掛金	1,259,755	1,177,804
商品及び製品	382,250	464,569
その他	102,402	99,983
流動資産合計	3,409,921	3,292,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	491,305	488,653
機械装置及び運搬具(純額)	220,641	215,765
土地	2,109,461	2,109,461
建設仮勘定	—	3,348
その他(純額)	7,072	6,532
有形固定資産合計	2,828,480	2,823,761
無形固定資産	941	838
投資その他の資産	236,370	232,412
固定資産合計	3,065,792	3,057,012
資産合計	6,475,714	6,349,270
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,116	447,594
短期借入金	1,184,003	1,131,283
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	80,169	32,022
賞与引当金	48,134	71,638
その他	358,742	381,862
流動負債合計	2,247,169	2,114,405
固定負債		
長期借入金	29,145	16,644
その他	191,691	201,408
固定負債合計	220,836	218,052
負債合計	2,468,006	2,332,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,569,379	3,578,484
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,980,287	3,989,393
新株予約権	27,420	27,420
純資産合計	4,007,707	4,016,813
負債純資産合計	6,475,714	6,349,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,727,371	1,717,760
売上原価	1,335,644	1,321,732
売上総利益	391,727	396,027
販売費及び一般管理費	295,985	309,650
営業利益	95,741	86,376
営業外収益		
受取利息	322	291
受取手数料	3,434	4,008
その他	643	1,221
営業外収益合計	4,401	5,521
営業外費用		
支払利息	1,949	1,761
その他	72	0
営業外費用合計	2,022	1,761
経常利益	98,120	90,136
特別損失		
固定資産処分損	584	—
特別損失合計	584	—
税金等調整前四半期純利益	97,535	90,136
法人税等	36,429	32,647
四半期純利益	61,106	57,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,106	57,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	61,106	57,488
四半期包括利益	61,106	57,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,106	57,488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	97,535	90,136
減価償却費	24,558	29,141
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,682	23,504
受取利息及び受取配当金	△322	△291
支払利息	1,949	1,761
固定資産処分損益 (△は益)	584	—
売上債権の増減額 (△は増加)	22,512	144,910
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,393	△94,884
仕入債務の増減額 (△は減少)	△49,348	△78,522
その他の資産の増減額 (△は増加)	△42,513	2,882
その他の負債の増減額 (△は減少)	△2,877	△22,785
小計	36,368	95,852
利息及び配当金の受取額	11	22
利息の支払額	△1,949	△1,779
法人税等の支払額	△73,773	△79,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,343	14,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,237	△19,559
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	△1,112	△10
差入保証金の回収による収入	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,667	△16,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△36,762	△52,720
長期借入金の返済による支出	△12,501	△12,501
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,646	△113,604
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△170,657	△115,612
現金及び現金同等物の期首残高	1,640,144	1,665,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,469,486	1,549,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社ホンダカーズ東葛と株式会社ティーエスシーが合併し、株式会社ティーエスシーは解散いたしましたので、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲より除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,402,410	300,962	1,703,372	23,998	1,727,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	76,156	—	76,156	45,360	121,516
計	1,478,566	300,962	1,779,529	69,358	1,848,887
セグメント利益	103,517	32,346	135,864	2,291	138,155

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,864
「その他」の区分の利益	2,291
全社費用(注)	△42,413
四半期連結損益計算書の営業利益	95,741

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,418,662	273,224	1,691,886	25,873	1,717,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	46,117	46,117
計	1,418,662	273,224	1,691,886	71,991	1,763,878
セグメント利益	89,834	27,059	116,893	8,898	125,792

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	116,893
「その他」の区分の利益	8,898
セグメント間取引消去	3,181
全社費用（注）	△42,597
四半期連結損益計算書の営業利益	86,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。